

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	学習支援員配置事業	所管	教育委員会学校教育部 学校教育課
			TEL 2998-9238

事業の目的 (何の為に 行うか)	教員資格を有する人材を市立小中学校に学習支援員として配置し、少人数指導など個に応じた指導の充実を図り、児童生徒の「確かな学力」をはぐくむとともに、豊かな心やたくましく生きるための健康や体力を育成する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市立小中学校在籍児童生徒	対象とした数	25,849	人
		実際に 利用した数	25,849	人

活動の内容	(何を したか)	教員資格を有する人材を市立小中学校に学習支援員として配置する。配置された学習支援員は各学校の実情に応じて、①授業における教科指導②少人数指導時の補助③英語教育、コンピュータ教育の補助④その他の学校の創意工夫により活用する。							
		活動実績	項目名 採用人数	96	項目名 延出勤時間	67675	項目名 小中学校1校あたりの 学習支援員数	2	単位 人
			-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
			単位 人	単位 時間	単位 時間	単位 人	単位 人	単位 人	単位 人

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	89,557	88,816	93,983	277.2

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	児童生徒100人あたりの学習支援員数	学習支援員採用人数/児童生徒数	1	0.37	37.0
			-----	-----	-----
			単位 人	単位 人	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了					
	総合 評価	* 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ] 終了				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	130100	TEL	2998-9238
事業コード	学習支援員配置事業					
130104	教育委員会学校教育部 学校教育課					
開始年度		平成 14 年度	—	終了年度	平成 年度	
②事業の概要		事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加 根拠法令 分野別計画・指針 関連・類似事業 学校いきいきプラン推進要領 総計計画の体系 政策 第4章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち 施策 2節 学校教育 中柱 1 教育内容の充実 小柱 (2)豊かな心をはぐくむ教育の充実 ・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 6 位 ・実施計画における位置づけ… H19 A H20 A 行政改革大綱における行動計画への位置づけ コード 3261 事務事業見直しの推進 事業開始の背景 少人数指導などによる児童生徒への細やかな指導対応の必要性があり、国の緊急地域雇用創出特別交付金に基づく、文部科学省「学校いきいきプラン」の所沢市独自事業として開始した。				

③事業の内容	目的(何のために、具体的に)		利用数の考え方	
	教員資格を有する人材を市立小中学校に学習支援員として配置し、少人数指導など個に応じた指導の充実を図り、児童生徒の「確かな学力」をはぐくむとともに、豊かな心やたくましく生きるための健康や体力を育成する。		利用数の考え方	
	対象(誰を、何を対象としているのか)		市立小中学校の在籍児童生徒数	
市立小中学校在籍児童生徒		市立小中学校の在籍児童生徒数		
対象数	単位	平成 18 年度	25,968	人
		平成 19 年度	25,849	人
事業の具体的な内容及び実施方法				
教員資格を有する人材を市立小中学校に学習支援員として配置する。配置された学習支援員は各学校の実情に応じて、①授業における教科指導②少人数指導時の補助③英語教育、コンピュータ教育の補助④その他学校の創意工夫により活用する。				

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input checked="" type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
平成19年度中に改善した点				
特になし				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		83,845	89,557	62,160
	決算 (見込み含む)		81,607	88,816	
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人) ( 人)	( 人) ( 人)		
	正規職員人件費		0.70 人 6,440	0.55 人 5,167	
	公債費				
事業費合計		88,047	93,983		
財源内訳	一般財源		88,047	93,765	61,926
	国・県支出金			218	234
	受益者負担金				
	市債				
その他					
市民一人当たり(単位:円)		260.6	277.2		
利用数一単位あたり(単位:円)		3,390.6	3,635.8		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	採用人数	学習支援員採用人数	人	96	96	60
	延出勤時間	延勤務時間	時間	60576	67675	44400	
	小中学校1校あたりの学習支援員数	学習支援員採用人数/小中学校数	人	2	2	1.3	
成果分析	児童生徒100人あたりの学習支援員数	学習支援員採用人数/児童生徒数	人	目標値	1	1	1
				実績	0.37	0.37	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
			%	達成率	37.0	37.0	1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見直しの必要性
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見直しの必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	国の緊急地域雇用特別交付金による補助が平成16年度で終了したため、事業費の全額が市の一般財源となった。		
評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	児童生徒の満足度を高くする	アンケートをとり、各校における学習支援員の配置による効果、勉強における満足度を計る	平成21年3月	
	平成21年度における事業の方向性			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) ) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	教員と学習支援員が共に学習指導や生活指導をすることで、児童生徒一人一人に応じた指導を行うことができ、心豊かでたくましく生きる児童生徒の育成に非常に効果がある。また、配慮を要する児童や理解に時間のかかる児童の指導にもかかわらず、よりきめ細かく柔軟で幅広い学習指導を行うことができる。学習支援員配置事業は、学校教育をより充実させるため、さらなる拡充を図る。			
評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	学校教育課長 内野 正行	

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	事前評価	部内優先順位… 12 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
評価	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		市長マニフェスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価理由	今年度から、特別支援教育支援員配置事業との違いを明確にして取り組み、今後は英語教育でのボランティアの活用も検討していることなどから、これからの成果を期待して総合評価を「拡充」とした。予算については、現状の支援員数で取り組みを進めるべきと考えて「現状どおり」とした。				
評価日	9月1日					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	1114
	基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします		
	主要課題	1子どもたちの知識・能力の育成		
施策の方向	1豊かな心と健やかな身体の育成			